

むこう

ふみさぼ

平成20年度 活動状況

依頼会員：350名 援助会員：113名 両方会員：11名

会員総数：474名 活動総数：1294件

援助会員同士のつながりも深めて...

向日市まつりの取り組みより



新センター長より



このたび4月の異動で着任しました山本でございます。まだまだ不慣れではございますが、前任者と同様によりしくお願い申し上げます。

さて、近年におきましては少子高齢化とともに核家族化が進む中、女性の社会進出もめざましいものとなっております。こうした状況のもとで、子育てする女性にとっては、決して整備された社会環境となっていないのが実情であります。当センターでは、育児による不安の解消や労働の軽減を少しでも補い、安心して子育てできる体制づくりとして子育てサポート制度の拡充につとめているところであります。

本年におきましても、育児の「手助けをしてあげたい援助会員」の皆様方や「手助けを受けたい依頼会員」の皆様方のご協力として支援してまいりたく存じます。

この制度は、市民の皆様方の共助により成り立っているものでありますので、今後とも深いご理解とご協力いただきますようお願い申し上げます。

ふみさぼ たまたま箱

安心して子育てができる環境づくり

～遠い親戚より近くの他人～

ついこの前までは近所づきあいが活発で子ども達も地域の中で育っていたように思います。けれども最近ではさまざまな社会の変化にも影響されなかなか難しくなっています。

《気軽に相談できる人が近くにいますか？》

あいさつだけの関係や顔見知り程度からのスタートで、中には深い話ができる人ができていくことが安心につながっていくと思います。こと、はじめての子育てとなるとわからないことはばかりで助けが必要になることがいろいろな場面に出てきます。実際に助けを求めることがなくても助けてくださる方が具体的にあるという心強さは大切です。



ファミリーサポートセンターでは、ご近所の子育て技術をきちんと学んだ信頼できる援助会員さんを紹介し、会員になってお顔合わせをすることで「顔見知り」から「助けを求められる具体的な人」に出会うことができます。

今年度から「お顔合わせ」の時に援助会員、依頼会員、子どもと撮った写真をお渡しすることになりました。大切にしてくださいね。

編集後記

桜の咲き始めから数日の花冷えで、長く開花が楽しめましたね。もうすっかり風薫る5月です。

活動後の報告を受ける際、目を細めて携わったお子さんの話をされる援助会員さん、『安心してお願いしています。』とおっしゃる依頼会員さんの声が届くと、いつも嬉しさを覚えます。

山本俊三新センター長をはじめアドバイザーの高橋千鶴、大中賀宝子、小西圭子の4人で今年度も業務に当たります。身内でない方に子どもを預ける不安やはじめて知り合ったお子さんを預かる不安は親である私達も充分感じています。出会えた方々すべてがほっとでき、笑顔がこぼれるようなセンターをめざしてまいります。皆さまのご協力、ご理解をどうぞよろしくお願いいたします。



向日市ファミリーサポートセンター

〒617-0002

向日市寺戸町東野辺31

保健センター2階

TEL・FAX (075) 932-7831



平成20年度 後期 センター交流会の様子

12月10日(水) 第3回

『ゆびあみマフラーをつくりましょう!』

編み物が好きな方も、苦手な方も、はじめて毛糸に触れるという方も、自分の両手を使って1本のマフラーを完成させました。はじめて『保育つき』という形をとりましたが、子どもと少しの時間、離れて集中することもお母さん方には新鮮だったようです。保育のお部屋では泣き顔もちらほらするものの、やさしい援助さんにあそんでもらって楽しむ子ども達の様子も見られました。



ゆびあみアシスタント、保育担当、交流会参加と援助会員さんはそれぞれのお得意分野で大活躍していただきました。



当日の感想より…

《子どもと離れ自分の時間を実現できました。短時間で完成できうれしかったです。》《子どもを預けることが不安でしたが、援助会員さんが『大丈夫!』と講座へ送り出してくださったのでとても心強かったです。》《自分でつくることの楽しさを実感させていただきました》《若い方達と一緒できたことも、30年位若返った様な気がしています。若さと元気をいっぱい頂きました。感謝です。》



3月4日(水) 第4回

『子どもの気持ちによりそって』

援助会員であり、元向日市保育所長である山室睦美さんをお迎えて『子どもの気持ちによりそって』という内容でお話を聞かせていただきました。子どもを遊ばせながらリラックスした雰囲気の中でやさしい語りかけのお話で気持ちが満たされるひとときでした。



当日の感想より…

《山室先生のお話はとってもわかりやすく、大変共鳴ができ、またなるほどと思い勉強になりました。》《“子どもの気持ちになる”ということと“待つ”ということの大切さを学ばせていただきました。》《『痛い』と泣いていても、『それくらいじょうぶ』とほっていることが多かったので反省しました。気持ちによりそってやりたいと思います。》《子どもをちゃんと見つめて、よりそってあげられているかなとふり返ってみる時間とチャンスいただけたなと思います。》



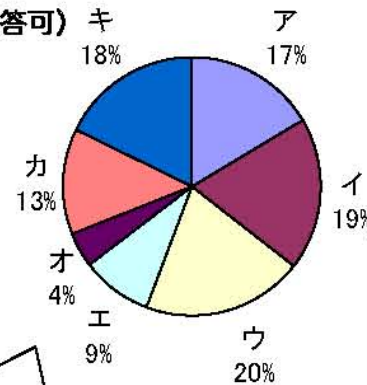
入会アンケートから…

ファミリーサポートセンターでは、依頼会員の登録時にアンケートに答えていただいています。20年度に入会された方を対象に集計を取ってみました。

1. ファミリーサポートセンターを何で

お知りになりましたか?(複数回答可)

- ア、4ヶ月健診……………15人
- イ、子育てセンター……………17人
- ウ、向日市広報……………18人
- エ、向日市役所ホームページ… 8人
- オ、公民館などのちらし………… 4人
- カ、知人から……………12人
- キ、その他……………16人



子育てセンターの利用や広報によって情報を得られることが多いようです。また、4ヶ月健診や保健師による新生児訪問(キ、その他)もセンターを知るきっかけになっているようです。

2. 利用したい日が決まっていますか?

- ア、はい……………10人 19%
- イ、いいえ……………39人 81%

「利用日がきまってはいいないけれど、とりあえず入会したい」という方が圧倒的に多く、いざという時のためにできれば面接もしたいと希望されます。

4. 依頼会員になられる方の就労形態についてお答えください。

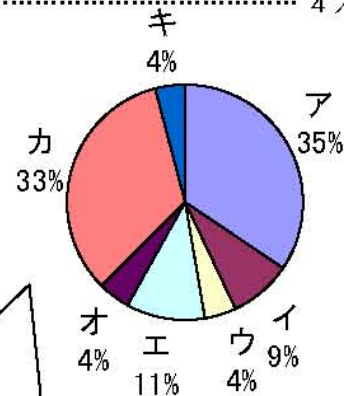
- ア、専業主婦……………24人 38%
- イ、内職……………0人 0%
- ウ、パート・アルバイト……………13人 20%
- エ、フルタイム……………25人 39%
- オ、自宅での教室運営……………0人 0%
- カ、自営業……………2人 3%

3. どんな理由で利用したいですか?(複数回答可)

ア、通所、通園施設への送り、迎えや

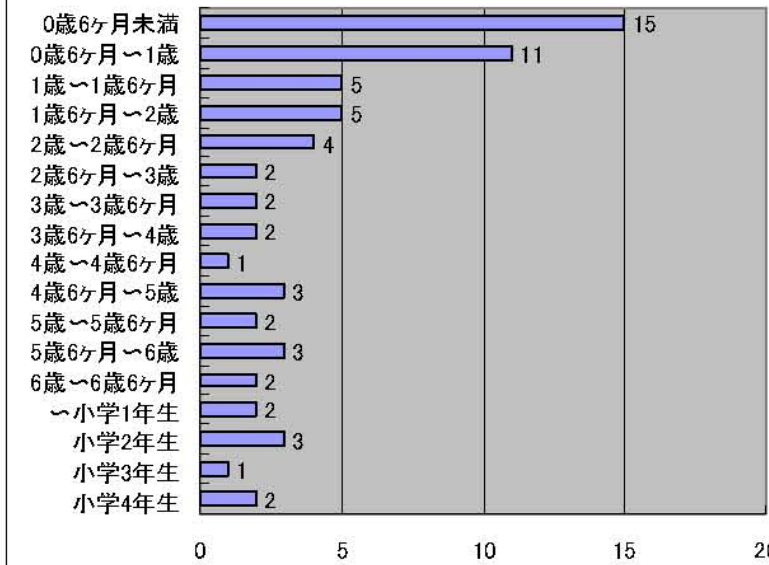
その後のあずかり……………32人

- イ、子どもの病後時……………8人
- ウ、保護者等の求職活動時……………4人
- エ、短時間、臨時的就労時……………10人
- オ、他の子どもの用事の場合……………4人
- カ、保護者などの外出時……………31人
- キ、その他……………4人



乳幼児は幼稚園、保育所、学童保育所等への送迎の依頼や、お母さんのお仕事のための定期的利用が多く、年齢が下がるほど一時的で臨時的な利用が多いように感じます。

5. 登録時の第1子の年齢



グラフより第1子が1歳未満で入会される方が多いと分かります。またその後、第2子妊娠中や出産前後に登録されることが多いようです。ご実家が遠方の方やお知り合いのおられない方には、4ヶ月健診時にぜひ登録をおすすめしています。